

5.14 神姫バスグループの取り組みや事業ニーズを聞く



バス運送事業を中心に、レジャー、農業、不動産、介護、飲食、物販など幅広い事業を展開する神姫バスグループと地元中小企業のビジネスマッチング機会を提供するため、同グループの取り組みや事業ニーズ（求める分野やパートナー企業像）を聞く説明会を開催し、約70名が参加した。同グループへの新たなビジネスや協業の提案を希望する参加者は、当商工会議所を通じて具体的な事業提案を行い、同グループの選考を通過すれば担当者との面談が可能となる。

説明会終了後は多くの参加者から質問があり、名刺交換を求める列ができるなど、ビジネスチャンスの獲得に意欲的な姿が見られた。

経営支援センター

5.15 自立型の部下を育成するスキルを学ぶ



中堅社員や管理職を対象に、指導・育成スキルを習得するため、ビジネスディベロップサポートの大軽敏史氏を講師に迎え、「できる後輩・部下を育てる現場でのOJTスキル完全習得」をテーマにセミナーを開催した。

大軽氏は、指導の心得として、「普段から部下とコミュニケーションを積極的にとり、信頼関係を築くことが重要」と強調。その上でOJTを実践すると、スムーズにメッセージが伝わり、モチベーション維持にも効果的であることを紹介した。

また、「一方的な指示よりも傾聴を中心に行うことで考えや悩みなど引き出すことができ、効果的にアドバイスがしやすくなり、自立した部下を育成できる」と解説した。

会員事業部人材開発チーム

5.17 水道筋商店街の活性化戦略を学ぶ



小売商業部会議員会では、地元神戸の商店街を再認識するため、市内屈指の先進商店街である水道筋商店街（灘区）を視察した。

大正時代、水道管の上に道ができ、店が集まってできた水道筋商店街。500余の店が集まり、8つの商店街と4つの市場が東西に細長く連なる神戸有数の商業地として発展した。

同商店街協同組合理事長の津村正武氏、企画部長の西井利行氏より、商店街の活動としてえびす祭や水道筋つまみ食いツアー、まち歩きマップの作成などが報告された。新しい周辺住民が増える中で、地元密着のイベントを継続的に実施し、話題づくりで誘客する必要性について強調するなど、地域に愛される商店街づくりの秘訣が紹介された。

中小企業振興部振興チーム

5.20 神戸市幹部に対して地元建設業への支援を要望



当商工会議所は「地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望」をとりまとめ、神戸市に要望書を提出した。同要望は、地元建設業の経営基盤の安定・強化を図るため毎年継続的に実施しているもので、今回は「地元事業者への優先発注、参入機会拡大」をはじめ「発注・施工時期の平準化」「適正な工期設定」「適正な予定価格の設定」「担い手確保・育成に向けた支援」を中心に要望した。

当日は、尾野副会頭、寄神建設部会長、今津・岡副部会長が、岡口・寺崎・油井副市長ほか神戸市幹部と懇談。特に、深刻化する人手不足を受け、適正な工期設定や提出書類の簡素化などによる労働環境の改善、将来の担い手確保につながる業界の魅力発信への協力を求めた。

地域政策部

5.15 外国人材受入の可能性を探る



企業経営委員会は、㈱YOLO JAPAN代表取締役CEOの加地太祐氏を講師に迎え、「外国人材受入の可能性」をテーマに講演会を開催した。

同社は、登録国籍数224ヵ国を超える国内最大級の外国人専門求人サイトを運営し、在留外国人の就労をサポートしている。

加地氏は「海外から人材を呼び込むことも必要だが、相当な準備と費用がかかる。まず日本に住む外国人にいかにか活躍してもらうかが大切」と強調。

また、外国人登録者の在留資格や日本語能力などを判定したデータと企業のニーズをマッチングする独自のビジネスモデルを紹介し、今後の外国人材の受入環境づくりについて参加者と活発な意見交換を行った。

地域政策部

5.17 「自身」の性格を再認識することは「他者」とつながる力を養う



良好な人間関係を築き、円滑にビジネスをすすめることができる「コミュニケーション力」を磨くため、デール・カーネギー・トレーニングの北郷和也氏を講師に迎え、「相手のスタイルに応じた効果的なコミュニケーションの取り方」をテーマにセミナーを開催した。

北郷氏は、「効果的にコミュニケーションをとるためには、まず自身を知らなければならない」として、参加者のパーソナリティスタイルを診断するテストを実施。その上で、各自のスタイルの特長を活かし、相性のいい、または苦手とする相手への、アプローチの手法や関係構築のポイントを学んだ。

参加者からは「人の見えにくい一面を、分析により把握できた」「職場で実践したい」などの声が聞かれた。

会員事業部人材開発チーム

5.21 女性会の2019年度事業計画を承認



女性会は通常総会を開催し、2018年度事業報告及び2019年度事業計画などを審議した。

続く特別講演会では、住まい方アドバイザー、㈱近藤典子Home&Life研究所取締役の近藤典子氏を講師に迎え、「片づく家のつくり方」をテーマに講演を聞いた。

近藤氏は、暮らしの悩みを30年以上解決してきた経験から生み出したこれまでの提案事例などを紹介。また、暮らしを楽しむコツを交えながら、「空間」や「収納」の考え方について解説した。

懇親会では、他商工会議所女性会や新入会メンバー、さらにはビジターの参加も多く、参加者同士の親睦を深めた。

会員事業部会員チーム

5.14 神戸学院大学・長谷川望さんが珠算検定1級満点合格



第215回珠算能力検定（2月10日施行）において、神戸学院大学に通う長谷川望さんが1級満点合格を獲得し、その成績を称える表彰式が行われた。

今回、1級の試験には全国で9,108人が挑み2,430人が合格。その中でも満点合格者はわずか22人のみ。表彰式では、日本商工会議所・三村会頭、当商工会議所・家次会頭名による表彰状や記念盾などが授与された。

長谷川さんは6年前に1級合格を果たしたが、どうしても満点合格を取りたいと何度も挑戦。9回目で念願が叶ったことに「すごく感激。この経験を活かしこれからも様々なことにチャレンジしたい」と笑顔で話した。

会員事業部人材開発チーム